

『エリーゼのために』を聞いて

感想画サンプル作品

幼稚園教育コース芸術的感性開発専攻（美術）

中学校教育コース美術専攻

10219033 谷川愛果



エリーゼのためにを聴いて、私はモネの「日傘をさす女」が思い浮かびました。それをパロディして、待ち人をイメージして描きました。

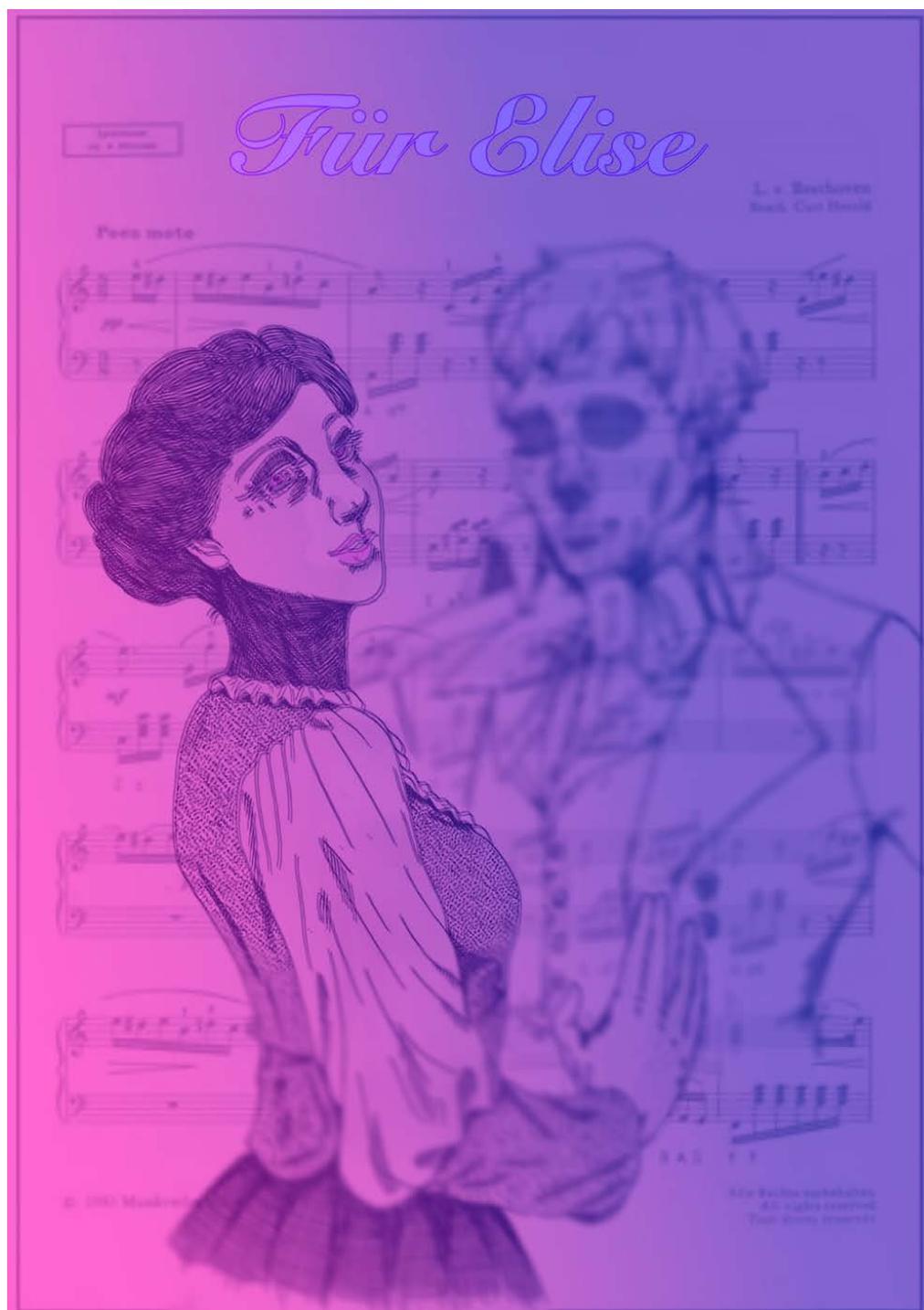
エリーゼのためにでは、悲しい、不思議、そして楽しそうな曲調が入り乱れているため、それらを、待ち人の様々な気持ち(期待、不安、ドキドキ、怒り)に重ね合わせて情景的に表現しています。気持ちを色彩に乗せて、空や服、陰にちりばめ、この一枚から待つ際の様々な気持ちを読み取れるよう工夫しました。

10219047 濱本晴香



この作品は、ベートーベンが作曲した「エリーゼのために」という曲を基に描いたものである。中心にいる女性は、エリーゼの正体が未だ不明であるところ、曲調が著しく変化するところなど、この曲の美しくもミステリアスな部分を表現した。また、作曲者のベートーベンから月光を連想し、月明かりに照らされている様子を描いた。

10219052 細貝将太



“エリーゼ”という女性について調べると、特定は出来ないがどうやら親交のあった婦人に対して贈られた曲である事が分かった。
その為、魅力的な婦人を描きました。



幼稚園・保育園児、小学生にとって身近な色鉛筆と折り紙で制作しました。エリーゼのためにを聞いて、とても楽しい時を過ごした大切な人との別れを表現した曲なのではないかと思い、中央の女の子を私たちから背を向けるようにして描きました。まわりの折り紙は、大切な人との別れが切ないことであったことを表現したいと思い上から暖色系、下に行くにつれて寒色系になるように配置しました。

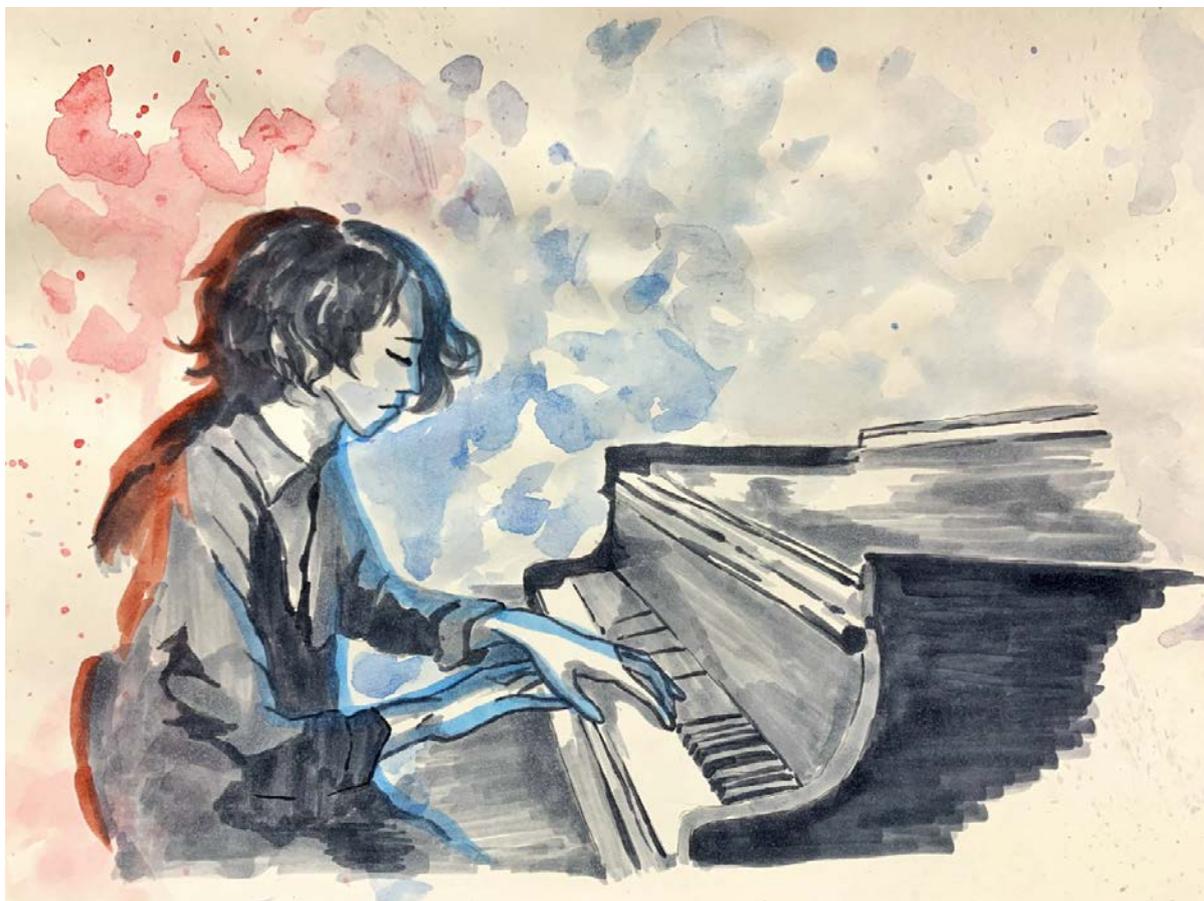


エリーゼのためにを聞いて、曲調の変化する様が飛んでいる蝶のようななと思い蝶々を描きました。背景となっている植物や森なども、色が明るい花とどこか薄暗い森とで曲の変化を表現してみました。



今回の企画での目的って何かないと考えたときに、子どもたちが既に作品として成り立っている音楽を聞いて、自分なりの解釈をし、それを自分らしく表に出し、表現する喜びを知るきっかけ作りなのかなと考えました。その時に自由と言われて画材選びに迷うと参考作品を見ます。その時の参考作品などが「描く」「塗る」だけになりがちかなと思いい「切る」「貼る」というものを作ってみました。折角画材が自由ですので、「自分はこれ！」と発見があると嬉しいなと思います。

10319027 山炭公香



エリーゼのためには、ベートーヴェンが想い人に向けてつくった曲だということを知ることがあります。恋の楽しさや高まる気持ちが途中の音が高くなる部分で表現されていると感じました。また、全体的には、恋が実らないことへの切なさ、悲しさ、もどかしさを音やリズムで表現されていると感じました。